

2025年度 技術開発支援事業募集要領

あなたからの提案お待ちしております

2025年5月

一般社団法人 中国建設弘済会

○みなさんが取り組む建設技術の研究または開発を支援します

我が国は、長年続いてきたデフレから完全に脱却するチャンスを迎えており、物価上昇が賃金上昇を上回る現状の日本経済を成長型の新たなステージへ移行させ、豊かさを実感できる持続可能な経済社会を実現していく必要があります。このためには、自然災害からの復旧・復興に全力を尽くすとともに、地震等を踏まえた災害対応力の強化、防災・減災、国土強靱化の着実な推進、交通の安全・安心の確保等により、国民の生命・財産・暮らしを守り抜くことが必要です。さらに、持続的な経済成長に向けて、成長分野への投資を持続的に拡大し、生産性の向上に寄与する戦略的な社会資本整備、DX・GXの推進に加え、地方創生2.0に資する地域活性化の推進、「交通空白」の解消等に向けた地域交通のり・デザインの全面展開など、取り組みが必要とされているところです。

また、国土強靱化については、「5か年加速化対策」の着実な推進とともに、継続的・安定的に切れ目なくこれまで以上に必要な事業が着実に進められるよう、令和6年能登半島地震等の経験も踏まえつつ、本年6月を目途に「国土強靱化実施中期計画」策定に向け調整が進められているところです。

中国地方においても、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等に対応するため、「流域治水の加速化・深化」、「インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスサイクルの実現」など、重点的に取り組みが進められているほか、道路事業においても、近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえた、強靱で信頼性の高い国土幹線道路ネットワークの構築や平常時・災害時を問わない安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワークの構築を推進するため、大きなストック効果の発現が見込まれる道路整備に重点投資するなど、計画的な事業が進められています。

このような状況の中、一般社団法人中国建設弘済会では、中国地方に基盤を持つ産業界や学校などを対象に、自然災害等から生命、財産を守り、誰もが安全で安心できる暮らしの実現に資する技術や建設現場における労働環境の改善、施工の合理化、品質向上等に資する技術など、山積する課題等に即応した良好な建設技術に関する研究または開発を支援する「技術開発支援事業」を実施しているところです。

今年度も「建設技術の研究または開発に関する計画」を募集いたしますので、皆様から多くの応募をいただきますようお願いいたします。

令和7年5月

一般社団法人中国建設弘済会
理 事 長 菅 原 信 二

2025年度 技術開発支援事業募集要領

1. 募集対象

中国地方に所在する学校及び本社の機能を有す企業、その他団体並びに個人が行う、中国地方の地域資源や地域特性を活かした建設技術の研究または開発について、2026年度の1ヶ年または2026年度からの2ヶ年で実施予定の研究または開発とします。（産業界と大学等の共同開発も対象となります。）

2. 募集テーマ

① 安全で安心できる暮らしの実現に資する技術

自然災害などから生命や財産を守り、誰もが安全で安心できる暮らしの実現に資する建設技術の研究または開発を募集します。

- 【例】
- ・ 地震、津波、洪水、土砂災害などによる被害軽減に資する研究または開発
 - ・ 社会基盤施設の長寿命化、老朽化対策に資する研究または開発
 - ・ 鋼構造物やコンクリート構造物の適切な維持管理（点検・補修等）に関する研究または開発
 - ・ GISを利用した災害点検技術に関する研究または開発
 - ・ 子供、障害者、高齢者などのモビリティの確保に関する研究または開発

② 建設現場の改善、負荷軽減に資する技術

建設現場における労働環境の改善や安全性の向上、施工の合理化、環境負荷の軽減並びに現場の品質管理等に資する建設技術の研究または開発を募集します。

- 【例】
- ・ 現場で働く技術者・技能者の安全性の向上や労働環境の改善に資する研究または開発
 - ・ 「DX」、「i-construction」に関する研究または開発
 - ・ コスト縮減に関する施工技術及び製品等の研究または開発
 - ・ 環境に優しい施工技術及び製品等の研究または開発
 - ・ 生産性向上に資する施工技術及び製品等の研究または開発
 - ・ コンクリート及びアスファルトの品質向上技術の研究または開発

③ 建設分野のイノベーションに資する技術

建設分野の技術革新を推進するため、民間企業等の先駆的な技術の研究または開発を募集します。なお、中小企業やスタートアップ企業の応募を優先的に選定します。

【補足】

新工法や新製品・材料等に関すること、作業の自動化や材料の高機能化に関することなどの技術の研究または開発を想定し、テーマ②と重複する部分もありますが、技術革新を目指す中小企業やスタートアップ企業を支援することを趣旨としたテーマです。

3. 応募方法

① 助成申請書及び計画書の提出

募集テーマに沿った建設技術の研究または開発についての計画書を作成し、助成申請書と共に、一般社団法人中国建設弘済会ホームページの申込フォームから提出してください。

② 計画書の作成

一般社団法人中国建設弘済会ホームページの「技術開発支援事業助成要綱」を確認のうえ「助成申請書等様式」をダウンロードし、必要事項を記入してください。

4. 応募期間

2025年6月1日～2025年8月31日

5. 助成対象者の選定

応募された研究または開発に関する計画書を、「技術開発助成課題選定委員会」で審査し、助成対象者を選定します。

なお、選定にあたっては、以下の観点から審査します。

- ・中国地方への貢献度
- ・現場適応の可能性
- ・独自性及び新規性
- ・費用の妥当性
- ・実現の可能性

6. 助成の内容

1件あたりの助成額は、研究または開発期間が2026年度の1ヶ年の場合で最高150万円まで、2026年度～2027年度の2ヶ年の場合で最高200万円までとします。

7. 審査結果の通知

応募者全てに対して、一般社団法人中国建設弘済会から採否の結果を通知します。

採択の場合は、通知時に助成予定額を合わせてお知らせする予定です。

なお、審査結果の通知は、2025年12月下旬の予定です。

8. 研究または開発による成果の扱い

成果は、助成を受けた方に帰属します。

9. その他

- ① 応募は、応募者1人あたり1件とします(共同開発の場合も含む)。
- ② 申請書及び計画書の作成、その他応募に必要な経費は、応募者の負担とします。
- ③ 助成の対象に選定されなかった場合は、提出された助成申請書等を当会の応募者提出フォルダから削除し、大会制定の「CSR(社会的責任)行動指針」に基づいて、提出者以外の者に知られることのないよう取り扱います。

10. 当該事業に関する問合せ先及び様式ダウンロード・申込フォーム

① 問合せ先

〒733-0012

広島市西区中広町三丁目25番15号

一般社団法人 中国建設弘済会「技術開発支援事業」事務局(担当 加田、高木)

TEL:082-577-0006 FAX:082-577-0003

または、次の中国建設弘済会ホームページの問合せフォームより問合せください。

② 様式ダウンロード・申込フォーム

一般社団法人中国建設弘済会ホームページ

URL <https://www.ccba.or.jp/service/public/tech/>

中国建設弘済会 技術開発等事業

検索